



「遠望五重塔」

四季の部 銅賞 八王子市 森松 幹治



# 花におもいう

別格本山高幡山金剛寺 貫主 杉田 純 一

迎春期間も二月十一日に終り、コロナによる例年と異なる堂内での参拝方法も、ご信徒の皆さまのご理解により大きな問題も起こることなく、また、山内職員と奉仕員にひとりの感染者も出ることがなかったこと、ここにこころより御礼を申し上げます。

元旦の一番護摩より迎春期間中のお護摩は都合三百九回を教え、多くの参拝者が訪れる時間帯には一時間ごとにお護摩をご修行しております。それ故、昼食は正午の護摩の後から次の護摩が始まるまでの約十五分間に、ひとり控え室の床の間に向かって、おにぎり二個とたくあん二切れ、それとみそ汁の簡素なもので済ませております。床の間には不動明王の掛軸と生け花が飾られており、この花を見ていると自然となごやかな気持ちになり、おにぎりが一層おいしく感じられます。

若いころは花を見ても「きれいだな」位にしかなかったのですが、七十歳を過ぎるころから、花を見ていると自然と癒されている自分に気づいておどろいています。これまでは若さ故か、ものごとの表面しか見ていなかったことに気づかされ、直接見ることのできない内面の世界を少し感じとることが、歳を重ねてできるようになったのかなとも思っています。

花を見て癒やされ元気が与えられるのと同じように、柔和な顔や親愛のこころが生ずるような言葉をもってひとに接すること、それはまた表面的な笑顔や言葉だけではなく、こころからの「和顔愛語」を実践していくことが大事なことでないかと思えます。

コロナ禍もすでに三年目、世界に眼を向ければ緊迫したウクライナ情勢、それに係る各種エネルギーの高騰など、先行きが見通せず不安な今だからこそ、ひとりひとりが他をおもいやる「和顔愛語」の精神で生活することが、明るい未来への第一歩となるのではないかと確信しています。

合掌

# お不動さまの心——(一一六)

## 現代の世相から(76) 廣澤隆之

老いてゆくほどに昔のことが思い浮かんできます。幼い頃にはときめくことばかりでした。その頃の想い出は老いた頭にも美化されたイメージで浮かび上がってきます。

最近、子供の頃に興奮した力道山のプロレスをなぜか思い出しています。まだ我が家にテレビがない頃に、どこのお宅のテレビで見たのか定かではないのですが、力道山がシャープ兄弟を空手チョップで打ちのめす姿に快哉を叫んでいました。シャープ兄弟に次いで外国のプロレスラーが次々と登場しましたが、子供心にショックだったのは覆面レスラーのミスターXの登場でした。ミスターXは凶悪で覆面の額部分にビール瓶の王冠のような金属を隠し入れ、力道山に頭突きをすると力道山の額が割れ、流血します。白黒テレビでもその鮮血の流れを見て心が昂ぶったものでした。

ところが、ある試合で堪忍袋の緒が切れた力道山がミスターXの覆面を剥ぎ取ってしまいました。あわてて両手で顔を隠す

ミスターXの素顔が垣間見えたとき、驚きました。そこには悪魔の所業の限りをし尽くしてきた顔ではなく、どこにでもいる平凡なアメリカ人のおじさんの顔が見えました。このどう見ても悪人面でないミスターXがプロレスで悪役をし続けるには覆面が必要だったのでしよう。

プロレスの覆面には悪役が顔を隠すだけでなく、強さを象徴するために日常の顔を隠すこともあるようです。とりわけメキシコ系のプロレスにそれが見られるように思えます。同じような覆面効果は仮面ライダーにも当てはまるでしょう。仮面ライダーのような仮面の英雄が悪を懲らしめるというドラマの源流は月光仮面ではないでしょうか。そして、私のような老人は、月光仮面の源流ともいえる嵐寛寿郎演じる鞍馬天狗も思い出すでしょう。

月光仮面に典型ですが、仮面の特徴は「どこの誰かは知らないけれど」(川内康範作詞)という匿名性でしょう。月光仮面は顔の半分を隠しサンングラスをし

ていますので、誰だか分かりません。それはスーパーマンが素顔のままでも現れ、衣装で特性を表現するのは違います。顔を隠す匿名性とは顔を通じて想像する人格が分からないということとです。月光仮面も実はミスターXなのです。しかし悪役ではなく、行動を通じて「正義の味方」であると「誰もがみんな知っている」のです。

このように理屈をつけずとも、顔を隠すと「顔色を見る」ことができないのです。私たちは他人との交流に「顔色をうかがう」ことを無意識のうちに行っています。そして互いに顔を見て心が通じ合う他人は「顔見知り」となります。ましてや幼い子供は最も信頼する保護者の顔色を見ながら、そこに明るい笑顔を見れば安心し、暗い顔を見れば不安になります。子供は顔の表情を敏感に見抜くすぐれた才能をもっているようです。

ところが、新型コロナウイルスの蔓延の中で私たちがマスクを常用する生活も二年を過ぎまし

た。ということは周囲の大人たちがマスク姿で、寝ている自分を上からのぞき見る奇妙な体験を生まれてからずっと続けている赤ちゃんがいるということとです。ペピーカーで外に連れて行かれると、周辺にいる背の大きな人たちはみんな匿名性を帯びて姿を現しているのです。赤ちゃんだけでなく、多くの児童がこの匿名性の世界で二年も生活しているのです。



胎藏界大日如来 西村龍逸筆

ンビニも、電車も、繁華街もこの匿名性の世界となっているように思えます。

そして保育園や幼稚園も、学校も匿名性の世界になってしまつたら、仮面で顔を覆うことのない人格と人格とが交わり合つて生み出される子供たちの豊かな精神生活は危機に瀕することになるでしょう。しかも小学生以上の子供たちが接するコンピュータの仮想世界は匿名性を帯びた情報に満ちあふれています。マスクは匿名性の世界を眼に見える形で示しているのであり、確実に感覚で受けとめることもない匿名性の世界は現代の特徴なのでしよう。

私たちはこのような深刻な状況に置かれている子供たちとどのように接したらよいのでしょうか。私たちがマスクをはずす生活ができないのであれば、せめて心にあるこだわりの仮面だけでなく外し、子供たちと笑顔で接したいものです。

そのような心のゆとりは仏さまの世界で心を洗い清めることから生み出されるでしょう。

廣澤隆之先生のプロフィール

●大正大学名誉教授

●浄福寺住職

# 自然豊かな高幡不動尊の 春をお楽しみ下さい

3～5月頃咲く主な花を紹介致します



フクジュソウ



ツバキ



エビネラン



カワヅザクラ

3月頃 山菜寅・梅 (約30株)・  
三桮・寒菅・椿(200株)・  
黒文字・菊咲一華・辛夷  
(20株)・楸・桜(河津桜・  
江戸彼岸桜・染井吉野・  
八重桜等 300株)・



ニリンソウ



アセビ

諸葛菜・土佐水木・  
十二単・令法・木五倍子・  
かたくり・狸々ばかま・  
春蘭・堇(各種)



タチツボスミレ



ハナモモ

4月頃 木瓜・馬酔木・山吹・山藤・  
藤・三角草・木蓮・連翹・  
二輪草・熊谷草・稚児百合・  
宝鐸草・黒花蠟梅・水芭蕉・  
花桃・いかり草



シャクナゲ

5月頃 泰山木・立浪草・石楠花・  
定家かずら・花水木・  
菖蒲・小手毬・大手毬・  
芍薬・二人静・著菺(群生)・  
梅檀

(このほか山内には自生の野草が  
たくさん見られます)



ヤマツツジ



ミズバショウ



クルバナロウバイ

# 高幡不動尊 フォトニュース



常楽会～僧侶のみで勤修 2/15



日社協の募金を日野市長へ 12/22



マスク姿の新成人 1/10



新年最初の一打～除夜の鐘 1/1



うどん接待は少人数で～星まつり 12/22



吉野孝壽先生のご法話～初不動 1/28



沢山のお護摩札をお加持 元旦一番護摩 1/1



高幡山遍照講のご奉仕で福銭作り 1/14



木遣りで初詣～江戸消防記念会 1/10



空手教室「不動会」の初稽古 1/9



五重塔に高々と放水～文化財防火デー 1/26



日野七福神巡りの皆様 1/1



天候に恵まれた初不動だるま市 1/28

ご奉納御礼

境内整備緑化資金

寄進者芳名

(令和三年十一月一日〜令和四年一月三十一日)

- 世田谷区 関根 正人
- 稲城市 寺尾 公平
- 彦根市 西澤 政男 (二回)

幟旗奉納者芳名

(令和三年十一月一日〜令和四年一月三十一日)

- 那須町 (株)シヨアイアミアガーデン
- 調布市 工藤 龍太郎
- 東久留米市 佐野 碧
- 清瀬市 沖山 順子
- 立川市 大森 久美子
- 日野市 板垣 康夫
- 日野市 上村 隼也
- 日野市 上村 あゆみ
- 日野市 有泉 雅弘
- 町田市 諏訪 和世
- 相模原市 渡井 進
- 相模原市 水 希
- 二本 中央市 佐野 千尋

大提灯奉納者芳名

(令和三年十一月一日〜令和四年一月三十一日)

- 川口市 イズミ・ピー・アール社
- 台東区 三河屋 山崎法衣店
- 西東京市 總持寺 小峰立丸
- 国立市 燎俳句会
- 多摩市 勝又鉄筋工業(株)
- 日野市 豊住 昌彦
- 日野市 大野 綾子
- 日野市 花さく生花店
- 日野市 有限会社大政鮎
- 日野市 (有)開運そば
- 日野市 株式会社高幡ホーム
- 日野市 歌手 岩崎愛子
- 福生市 福栄講 秋山充典

千体地蔵尊

奉安者芳名

(令和三年十一月一日〜令和四年一月三十一日)

- 町田市 松永 美佐子

左記ご奉納頂き大変有難く厚く御礼申しあげます。(敬称をすべて省略させていただきます)

一、品名 川澄祐勝大僧正御染筆

屏風

奉納者

八王子市 菅谷 秀文



一、品名 稻荷社鈴紐

奉納者

日野市 山田 雅之



一、品名 十三仏掛軸・鏡

奉納者

日野市 高幡 下講中



一、品名 額装写真 二点

奉納者 (撮影)

昭島市 鈴木 克夫



一、品名 マスク (手作り)

奉納者

国立市 佐藤 ふじ子

# 各種募金総計表 (令和4年2月25日現在)

インドハンセン病救援金	(21回)	15,900,000円也
阪神大震災救援金	(4回)	4,104,039円也
トルコ大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
台湾大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
三宅島災害救援金	(2回)	2,000,671円也
インド大地震救援金	(1回)	512,609円也
○イラン大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
カンボジア小学校建設資金	(1回)	100,000円也
ラオス教育振興資金・井戸掘削援助資金	(1回)	800,000円也
新潟中越地震・中越沖地震救援金	(3回)	3,100,000円也
○スマトラ沖地震大津波災害救援金	(1回)	200,000円也
スリランカ・スリジナラタナ社会福祉協会	(1回)	1,030,000円也
○アフガニスタン児童教育援助金	(7回)	5,500,000円也
○アフリカ緊急募金	(15回)	6,500,000円也
パキスタン北部大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
ジャワ島地震救援金	(1回)	1,000,000円也
能登半島沖地震救援金	(1回)	250,000円也
○ソロモン諸島沖地震救援金	(1回)	250,000円也
○ミャンマー大洪水救援金	(1回)	500,000円也
四川省大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
読売愛と光の事業団社会福祉事業基金	(1回)	300,000円也
スマトラ・サモア地震救援金	(1回)	200,000円也
中米ハイチ大地震救援金・チリ大地震救援金	(3回)	1,300,000円也
宮崎県口蹄疫被害畜産農家救援金	(1回)	1,000,000円也
日野市社会福祉協議会への寄附	(23回)	6,900,000円也
東日本大震災救援金	(18回)	32,000,000円也
ネパール大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
熊本地震救援金	(4回)	5,000,000円也
西日本豪雨災害義援金	(1回)	1,000,000円也
令和元年台風15号・19号災害義援金	(1回)	1,000,000円也
総計	(120回)	96,447,319円也

尚 ユニセフ関係募金(○印)は合計一、三九五万円になっております。

平成九年以降皆さまから寄せられました各種募金の合計は左記の通りでございますので御礼旁々ご報告申し上げます。

## 募金の御礼とご報告

高幡不動尊金剛寺執事



お不動様の御姿  
御朱印帳が新登場  
1冊 1500円



御朱印袋 1500円  
新しい御朱印帳と同じ絵柄で  
黒地にお不動様のお姿が織り  
込まれています。

# 春の行事案内

## ◇三月

- 13日(日) フリーマーケット
- 20日(日) ござれ市(がらくた市)〈雨天決行〉
- 21日(祝) 春分の日 彼岸会法要(午前七時) 大日堂  
弘法大師正御影供 (午前七時) 大日堂

- 24日(木) 月例写経会(午後一時三十分) 法話 山内僧侶  
千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶
- 28日(月) 月例祭(ご縁日)

## ◇四月

- 8日(金) 花まつり(灌仏会)〈午前十一時〉  
尚、甘茶接待は四月六日(水)〜十日(日)まで行います。
- 10日(日) フリーマーケット
- 17日(日) ござれ市(がらくた市)〈雨天決行〉
- 27日(水) 〓29日(祝) 春季大祭国宝まつり (詳細は九頁参照)

## ◇五月

- 7日(土)・8日(日) 第二十五回ひの新選組まつり  
フリーマーケット
- 8日(日) フリーマーケット
- 15日(日) ござれ市(がらくた市)〈雨天決行〉
- 21日(土) 月例写経会(午後一時三十分) 法話 山内僧侶  
千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶
- 24日(火) 五月大祭
- 28日(土) 記念法話 午後二時―聴講無料―  
(詳細は十頁参照)

新型コロナウイルス感染拡大の状況により諸行事を中止・縮小させていただく場合がありますのでご了承ください。

## 花まつり法要と甘茶接待

四月八日にお釈迦様のお誕生をお祝いする花まつり法要が執り行われます。灌仏会とも呼ばれるこの法要は、お釈迦様がルンビニーでお生まれになったとき龍王が甘露の雨を降らせて祝福した故事にならない誕生仏に甘茶をそそぎます。

当山でも花御堂を飾り、誕生仏に甘茶をそそぎ、お祝いの花まつり法要(灌仏会)が行われます。

甘茶接待 四月六日(水)

四月十日(日)

花まつり法要 四月八日(金)

## 稚児募集要項

来る四月二十八日(木)の春季大祭国宝まつりのお稚児を左記の通り募集致します。奮ってご参加下さい。

記

- 一、日時 四月二十八日(木) 午後一時
- 一、集合 午前十一時三十分(本坊)
- 一、申込 四月二十五日まで
- 一、冥加料 金七千円也

(お護摩料、お守り札、稚児袋、お供物、衣裳料、化粧料、軽食二人前)

- 一、年齢 三歳〜七歳位まで
- 一、二準備 服装自由(こき紐・細紐を各一本ご持参下さい)
- 履物はなるべく草履・足袋をご持参下さい。



# 春季大祭国宝まつりのご案内

○四月二十七日(水)

大 写 経 会……………午前九時三十分(客殿三階)

写 経 奉 納 大 護 摩 修 行……………午前十一時三十分(不動堂)

※記念法話【聴講無料】……………午後一時(塔院大ホール)

講 師 四国八十八ヶ所第三十一番札所

高知市竹林寺 御住職

海老塚 和秀先生

演 題 「同行二人くお大師様に導かれて」

○四月二十八日(木)

春 季 大 祭 国 宝 ま つ り 世 界 平 和 祈 願

稚 児 練 供 養 大 護 摩 修 行……………午後一時(不動堂)

※五重塔仏彫刻拝観日【拝観無料】……………午前十時～午後四時

○四月二十九日(金) 昭和の日

千 体 地 蔵 尊 総 回 向 法 要

午 前 の 部……………午前十時(千体地藏堂)

午 後 の 部……………午後一時(千体地藏堂)

※出店 ござれ市(骨董市)ほか

新型コロナウイルス感染拡大防止のため期間中の諸行事を一部中止・縮小させていただきます。又、開催が予定されている行事も中止となる場合がありますのでご了承ください。

## 第二十五回 ひの新選組まつり

五月七日(土)・八日(日) 開催

## 千体地藏尊総回向法要

左記によって千体地藏尊総回向法要を勤修し、皆様方の諸願成就・万霊供養をご祈念申しあげます。ご知友お誘い合わせてご参拝下さい。

記

一、日 時 四月二十九日(金) 昭和の日

午 前 の 部 十 時 从 前

午 後 の 部 一 時 从 前

一、会 場 塔院千体地藏堂

一、冥 加 料 金二、〇〇〇円也(但、お札料)

○ご回向の塔婆をご希望の方は別に三、〇〇〇円(二体)を添えてお申し込み下さい。

## 大 写 経 会 の お 知 ら せ

当山では、春季大祭国宝まつり中左記の通り大写経会を奉修致しますので、ご知友お誘い合せてご参加下さい。

記

一、日 時 四月二十七日(水)

写 経

午 前 九 時 三 十 分

写 経 奉 納 大 護 摩 修 行

午 前 十 一 時 三 十 分

一、会 場 高幡不動尊客殿

一、会 費 金五、〇〇〇円也(含写経奉納金、記念品、祝膳)

○お申込・お問合せは高幡不動尊写経係まで  
電話 〇四二一五九一―〇三二番(代)



### 春季大祭記念法話

・日時 四月二十七日(水) 午後一時から  
 ・会場 五重塔塔院大ホール(聴講無料)  
 ・講師 四国八十八ヶ所第三十一番札所  
 高知市 竹林寺御住職  
 海老塚 和 秀 先生



・演題  
 「同行二人  
 ～お大師様に  
 導かれて～」

### 五月大祭記念法話

・日時 五月二十八日(土) 午後二時から  
 ・会場 五重塔塔院大ホール(聴講無料)  
 ・講師 真言宗智山派 智山教化センター長  
 江東区 香華院御住職  
 鈴木 芳 謙 先生



・演題  
 「生きる力」

### 多摩八十八ヶ所巡拝のご案内

当山では昭和四十八年より毎年、四月から十月にかけて多摩八十八ヶ所巡拝を実施致しております。巡拝は初めての方でも先達のお坊さんの案内をいただき乍ら月一回の楽しい巡拝が出来ます。ご知友お誘い合せでご参加下さいませようご案内申し上げます。

記

- 一、巡拝 毎月第一週の火・木・日曜日 (五月は第二週)
  - 一、会費 四九、六〇〇円(七回分) 分割納入も可 (納経料・バス代・保険料等を含む)
  - 一、昼食 各自持参
- ※詳しくは高幡山事務局内「龍華会」まで  
 電話 〇四二五九一〇〇三二番

### 「多摩八十八ヶ所巡拝のしおり」刊行のお知らせ

平成四年に出版された「多摩八十八ヶ所巡拝のしおり」を再編し、新冊子として刊行致しました。令和五年には弘法大師御生誕一二五〇年を迎えますのでお大師様の信仰を深め八十八ヶ所巡拝をされたいかがでしょうか。

一部 1,000円

※ご希望の方には郵送致します。

(送料三〇〇円)

電話 〇四二五九一〇〇三二

龍華会まで



# 山内消息

## 煤払い (12/13)

寒空の下、山内職員総出で毎年恒例の煤払いが執り行われました。先ず不動堂にて法楽をあげ、早朝に準備をした特製の煤竹で不動堂内外の煤を払いました。その後、各お堂にて煤払いが行われ、これを機に新年に向けて本格的な

正月準備がはじまりました。(佐竹智記)

## AED講習会

十二月十六日、日野消防署高幡出張所の皆様のご指導を



不動堂の煤払い

いただきAED講習会を行いました。

境内で参拝者の方に何か起きた時、迅速且つ的確に対応できるように山内僧侶、職員全員でしっかりと使用方法を学びました。

今後も応急救護の意識を高め参拝者に安心してお詣りして頂けるよう務めていきたいと思えます。(清水順記)

## おみがき (12/16)

正月準備の一環として今年最後のおみがきが執り行われました。遍照講の皆様と山内職員にて、事前に五重塔へ運び込んだ境内全ての仏器を心を込めて綺麗に磨き上げました。不動堂の壇上に並んだ仏器は仏様の智慧の光のようにとても輝いておりました。(佐竹智記)

## 星まつり

十二月二十二日冬至、午後五時から不動堂に星供曼荼羅をおまつりし、星まつり法要が勤修されました。前回は僧侶のみにての御修



日野消防署ご指導のもとAED講習

行でしたが、今回はお堂にお入りいただき、冬至うどんのご接待も再開し、暮れの行事の参加に皆様大変喜ばれていました。(森口記)

## 牛王宝印可

一月十五日に不動堂内陣参拜の際、恒例の牛王宝印のお授けが行われました。

この牛王宝印は重要文化財のお不動さまと同じ材で作られたとされる秘印で、古来より身体安全・無病息災・頭痛除けの靈験で知られております。年に一度のお授けとあり多勢の方が来山されました。(速水記)

## 総本山御内局来山

一月十八日、京都の総本山智積院より芙蓉良英宗務総長をはじめ三神栄法総務部長、山川弘巳教学部長、服部融亮教化部長、大森真弘法務部長、日下敬啓財務部長、倉田隆伸宗務出張所長他総勢九名にて新年のご挨拶にご来山いただきました。コロナの影響で、内局発足後ご一同様揃っての



総本山内局ご一同様

来山ははじめてとなり、大護摩修行に続き山内各お堂をご参拝いただきました。(丸山幸記)

## 文化財防火デー消防訓練

一月二十六日、文化財防火



大しゃもじを使って豆煎式

デーの消防訓練が午前九時から始まりました。

文化財防火デーは昭和二十四年に奈良の法隆寺が炎上し壁画が焼損したことから翌二十五年に文化財保護法が制定され、三十年に一月二十六日を「文化財防火デー」と定められました。この訓練によって地域の皆様とともに火災や震災などの災害から文化財を守る意識が高まっていくよう願います。(杉田周記)

## 豆煎式

一月三十一日、快晴の下で豆煎式が執り行われました。この行事は節分会に撒く福豆



だるま市の中を節分のお練り

要が開催されました。

昨年同様、宝輪閣二階の舞台から豆を撒かないなど感染対策の縮小開催となりましたが、参道では約三百名の年男の方が福豆を配りながら練り歩き、一年の無事と幸福をお祈りしました。

本年、記念回の年男参加者をご紹介します。(敬称略)

第六十回

谷井 正剛

第四十回

境 光一

第三十回

石井 光男 ○ 駒沢 克修

鈴木 春吉 ○ 野島 武夫

疋田 久武

第十回

岡田加代子 ○ 川澄 幸子

清水 富夫 ○ 下田 孝治

中島 明子 ○ 畠山 恒男

本間真紀子 ○ 榎谷 文雄

松澤 和壽 ○ 宮崎 寛康

渡邊 克己

尚、六十回・五十回には貫主

染筆額装色紙、三十回には金

バッジと文箱、十回には輪袈

節分会

二月三日、恒例の節分会法

(五十嵐記)

法要では参列の方々にも豆煎りをお願いしました。中には小さなお子様連れの方もいて、抱っこして煎る姿は以前の豆煎式を想起させるものでした。

装が各々授与されました。



ご詠歌さんにお手伝いいたदैて お磨き

京王電鉄

「しあわせ」記念入場券発売

令和四年四月四日は四が三つ並ぶことから四並びを記念した「しあわせ」記念入場券が発売されます。京王線沿線の幸セスポットといわれている高尾山薬王院、高幡不動尊、大國魂神社、大宮八幡宮の最寄り駅である高尾山口駅、高幡不動駅、府中駅、永福町駅の入場券四枚セットで三月中旬から五月末まで京王線全駅で発売予定です。詳しくは京王電鉄ホームページをご覧ください。

「在宅写経」のすすめ

高幡不動尊では檀信徒の皆さまにご自宅で出来る写経用紙をご用意しております。時節柄、ご自宅にいる機会が多い時に、ご自身の修養の為に写経を始められる事をおすすめします。

写経用紙 一巻 貳千円(送料 参百円)

写経用紙を郵送ご希望の方は、電話又はファックスで高幡不動尊事務局までご連絡下さい。写経用紙と一緒に払込取扱票を同封しますので、郵便振込でお支払い下さい。(複数巻ご希望の方は電話でご連絡下さい)

電話 ○四二(五九二) ○〇三二

ファックス ○四二(五九三) 三〇三八

※ファックスでお申し込みの方は、当山のホームページから申込書を印刷してご利用下さい。

※書き終わりました写経用紙は、当山にご返送下さい。写経用紙は当山のご本尊・不動明王様の御宝前にご奉納させていただきます。



# 年末・年始の行事に参加して

ご参加された方々のお声を紹介いたします。

## 星まつり (12/22)

相模原市 東 祐子

星まつりは初めての参加でした。とても迫力があり、びっくりしました。護摩の炎が大きくなるたびにエネルギーを感じ、体の中から余計なものも感じていくようでした。終わったあとは痛かった腰痛も軽くなりました。有難うございました。おうどん美味しかったです。ごちそう様でした。

立川市 齋藤留美子

心がこもっていて自分も来年も頑張ろうと思えました。有難うございます。また、おいしいおうどんや手作りのお漬物を頂けるなんて、とても嬉しく夢の様です。感謝します。

コロナの時こそ私たちに必要、その中で高幡様はお寺を開かれていて素晴らしいと思います。

さいたま市 池野 実幸

久しぶりの星まつりのお護摩に参加させて頂き、とても新鮮でした。立ち上がる炎と読経に囲まれた空間で精神が浄化され、この瞬間から良い方向へ全てが進むと感じられました。有難うございました。

国分寺市 葛城 祥子

お参りには時折何わせていただいておりますが、今年の色んな事があり、初めて星まつりに参加させていただきました。沢山の僧侶の方々のお経を聞くことが出来て、心



年に一度の宝印お授け

が洗われる思いでした。護摩法要の炎を見ながら力をいただきました。感謝いたします。

多摩市 飛田 亜矢

昨年は星まつりの行事に参加出来ず淋しかった。今年も参加出来て、いつものおうどんも頂けて大変嬉しかったです。来年が平和で穏やかな年でありますように。

## 牛王宝印可 (1/15)

川崎市 高村 晶

なかなか経験することのない貴重な体験をさせて頂いた。感謝しております。額にあたった際、神秘的な感覚になりました。

八王子市 飯島 誠

思い掛けず牛王宝印の日に参詣出来たことを嬉しく思います。思い煩うことなどが多いここ数年でしたが、今年こそは良い一年になりそうです。

日野市 大竹 宗

毎年、お正月にお護摩札をいただいておりますが、牛王宝印をいただいたのは初めてです。優しく押していただき、なんだか心が温かくなった気がします。今年も皆さんが健

康でいられますように。

横浜市

山里 実央

ありがたい気持ちになりました。ふわっとほっこり温かい気分になりました。有難うございました。

熊谷市

草野 綾

父の病氣平癒のお願いに参りました。痛が平癒するようお参りする事ができ、大変心強くありがとうございました。牛王宝印をお授け下さり有難うございました。貴重な日に参拝でき有難たく感じました。

## 節分会 (2/3)

六十回記念参加 谷井 正剛

晴天の中、六十回目の節分会を元気で迎える事が出来たのも、ひとえに丈夫な体をいただいた事により、続ける事が出来たのだと思っております。今後も健康で元気である限り年男に参加してまいります。

いと思います。

## お手伝い

今年も年末年始から節分会に至るまで百名程の学生さんを中心とする皆さんにお手伝いをいただきました。

お護摩受付 安藤 妃希

お寺での仕事は初めてでしたので初日は勝手が分らず、ご信者様の質問にもまともには答えられませんでした。職員の方々が接客の見本を見せて下さったり、分かりやすく説明しながら教えていただ



「入学記念」

四季の部 銀賞 相模原市 天池 信夫



お堂の中で「福は内！」

札をお渡しするお手伝いをさせて頂きました。高幡不動尊に参拝した事はありませんが、お手伝いとして訪れるのは初めてでした。お札渡しの際、参拝の方の中にはご自身の御願い事に関するお話を下さり、とても暖かい気持ちになりました。短い期間でしたが、働かないと分からない事や新鮮で貴重な経験ができました。

### 山主の主な動静

いたので、しっかりとした対応をすることが出来たと思います。また、この様な機会ではなければ触れることのなかった知識を沢山吸収することが出来たのも良い経験になりました。

お札渡し 氏家 沙織

年末年始にお手伝いを通して貴重な経験ができたことを嬉しく思っています。私達が普段当たり前かのように過ごしていたお正月は、多くの人々が陰で支えてくれていたおかげで迎えることができたのだと実感できました。

お札渡し 竹内 碧

大晦日から三が日、お護摩

- ・ 12/2 ジェイコム新年挨拶CM撮影
- ・ 12/3 まちおこし協議会
- ・ 12/11 多摩菊花連表彰式
- ・ 総代世話人会
- ・ 12/13 煤払い
- ・ 12/14 ~ 12/16 一流伝授(京都)
- ・ 12/22 社会福祉協議会募金お届け
- ・ 星まつり法要
- ・ 12/23 京王本社年末挨拶
- ・ 12/28 納め不動
- ・ 1/1 ~ 1/3 新年大護摩修行
- ・ 1/12 江戸消防新年会(新宿)
- ・ 1/15 牛王宝印印可
- ・ 1/18 本山内局年賀
- ・ 1/26 文化財防火演習
- ・ 1/28 初不動大祭
- ・ 1/31 豆煎式
- ・ 延命寺先代御令室葬儀(大導師)
- ・ 2/3 節分会
- ・ 2/15 常楽会
- ・ 實乗院御長老通夜焼香
- ・ 2/18 成田山橋本照総大僧正一周忌法要
- ・ 2/25 観光協会々々議
- ・ 12/27 ~ 2/9 2/22 客殿建設会議

御詠歌始めませんか

### 『密厳流御詠歌』 講員募集のご案内

御詠歌とは和歌調の詞に節を付け鈴・鉦を使ってお唱えする仏教歌で、萬燈会・常楽会などの法要でお唱えします。高幡山では次のとおり御詠歌の新講員を募集しますので、大勢様ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

- 一、名 称 遍照講高幡山支部
- 一、参加資格 どなたでもご参加いただけます
- 一、指 導 密厳流遍照講師範
- 一、会 費 一ヶ月 三、〇〇〇円  
(但し、鈴・鉦などの道具は別費)
- 一、稽古日時 月二〜三回 午前十時〜十二時
- 一、問い合わせ先 高幡不動尊内「遍照講高幡山支部」  
電話 〇四二二五九一〇〇三二

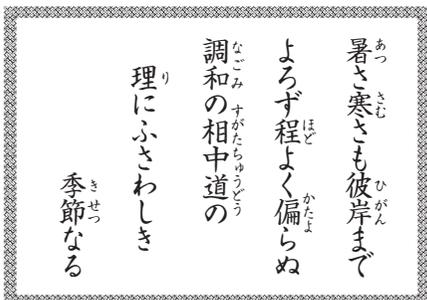
### 青葉まつり記念法話



- ・ 日時 六月十五日(水) 午後一時から
- ・ 会場 大日堂(聴講無料)
- ・ 講師 真言宗智山派 智山教化センター専門員 深谷市 地藏院御住職 吉田 住心 先生

演題 「真言宗の法要では何をやってるの?」  
どんな気持ちで参拝すればいいの?」  
青葉まつり……

真言宗の宗祖弘法大師空海上人は宝龜五年六月十五日に四国善通寺でお生まれになり、真言宗中興の祖興教大師覚鑿上人は嘉保二年六月十七日に九州肥前の国でお生まれになりました。両祖大師のご誕生を慶祝し、その業績を讃える法要です。



「彼岸会和讃」

### 高幡いきもの曼荼羅 ⑱

まるで人がお喋りをするように鳴くガビチョウが、高幡不動尊の境内で囀るようになって、かれこれ十年以上経ちます。ガビチョウはご存じのように人によって国内に持ち込まれた帰化鳥、つまり外来種です。しかし私達の周りを見渡してみると外来種がいつのまにか定着していることに気がきます。普通に道端で見られるタンポポにしても殆どが外来種のセイヨウタンポポなのです。



ニホンタンポポ



ガビチョウ

では何故外来種が問題になるのでしょうか。アレチウリのようにいたるところで繁茂したり、ブタクサのようにアレルギーの原因になるなど、自然環境や人体への脅威となる外来種も多いと聞きます。高幡不動尊の境内では過去三十年に限定しても、ガビチョウに代表される外来種の到来と共に、イトトンボやトウキョウサンショウウオのようにひっそりと数を減らす種も存在します。それは温暖化などの環境の変化と密接に結びついているのかも知れません。

しかし長いスパンで考えると、外来種がその環境に適應すること自体が自然のサイクルとして捉えることも出来ず、人が考える以上に自然環境は目まぐるしく移り変わります。百年先の高幡不動尊の境内ではどんな鳥の鳴き声が聞こえるのか、想像してみるのも面白いかも知れません。



ナガサキアゲハ

### なにげなくつかっている仏教のことば―所得・無所得(しよとく・むしよとく)

収入に応じてかかる税金は 望ましいと思っ

てらわれない境地をいいます。このように私たちの常識と

「無所得」といいます。得」とは(もの)や(こと)を

は正反対が、仏の境地であることを思えば、時には、いつ

(小林靖典)



ご質問 五重塔地下の休憩所に掲げられているお釈迦さまのレリーフについて教えてください。

お答え

はい、お答えします。

前号では《天上天下唯我独尊》

《占相》《武芸と修学》のレリーフについてお話ししました。

六番目は《酒池肉林》と題されたレリーフです。

酒池肉林とは、中国は殷の紂王が酒を池に満たし、肉を林のようにつるしてゼいたくな酒宴を行なったという故事によるものです。



酒池肉林

されていたと伝えていきます。これはしばしば沈黙想をするシッタールタの姿をみていたシッタールタが、誕生時のアシタ仙人による「家であれば世界を治める転輪王となり、出家すれば覚りを開き、人々を済い導くであろう」との預言により、シッタールタの出家を恐れた為の計らいでありました。

当然このような宴は、シッタールタが好むはずもなく、それ故、レリーフに描かれたシッタールタは、

美女に見向きもせず、そっぽを向いているように見えます。

またこのころ、シッタールタは

レリーフには、シッタールタが多くての美女に囲まれて宴を催している、宮廷での生活の様子が表現されています。

仏伝では、冬・夏・雨期を快適に過ごすための三つの館が設けられ、そこでたびたび宴が催

ヤシヨウダラと結婚し、一子ラーフラをもうけています。一説によれば、ラーフラの名は、男児出生の報せを聞いたシッタールタが、「困ったことだ、ラーフラ(障碍という意)が生まれた」と言ったことで、名づけられたとされています。(次号につづく)

御護摩札郵送のご案内



大護摩札 30,000以上 送料 800円 長さ 58cm	中護摩札 10,000円 送料 800円 長さ 52cm	護摩料 5,000円 送料 600円 長さ 45cm	護摩料 3,000円 送料 400円 長さ 37cm	懐中札 3,000円 送料 300円 長さ 11cm	交通安全祈願料 3,000円 送料 300円 長さ 15.5cm
--	---------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	---

当山では御護摩札を郵送により授与する受付を行っています。  
 郵送ご希望の方は、必要事項（お名前、お願い事、生まれ年、郵送先住所、ご連絡先等）をご記入のうえ、郵便（葉書、封書等）、又はFAXでお申し込み下さい。  
 御札が届きましたら、同封の払込取扱票で郵便局にてご送金下さい。

お申し込み・お問い合わせは高幡不動尊事務局まで

〒191-0031 東京都日野市高幡733番地

高幡不動尊 護摩札郵送係

電話 042-591-0032 FAX 042-593-3038

※電話、メール、インターネット等でのお申し込みは受付しておりません。

御札を複数郵送希望の場合、送料の金額が変わります

御◆案内

交通安全祈願

午前九時～午後五時  
 午後四時半までにお申込下さい。

○ご祈願料 金三、〇〇〇円也  
 御護摩修行

○平日 八時・十時・

十一時半・一時・三時

○土曜・日曜・祝日

八時・十時・十一時半・

一時・二時半・四時

○但し一日、十五日の午前中は

五時・十時・十一時半

○ご縁日（二十八日）

五時・九時・十時・十一時・

十二時・一時・二時半・四時

○御護摩料 金三、〇〇〇円也

金五、〇〇〇円也

金一〇、〇〇〇円也

（大護摩）金三〇、〇〇〇円以上

ご縁日 毎月二十八日

境内に市が立ち参道は歩行者天国になります。

フリーマーケット（リサイクル市）

毎月第二日曜日（雨天中止）

ござれ市（がらくた市）

毎月第三日曜日（雨天決行）

お焚き上げ

毎月十五日午前九時

月例写経会

毎月二十一日午後一時半

千体地藏尊月例法要

毎月二十四日午後二時

奥殿拝観（月曜休館）

午前九時～午後四時  
 拝観料 三〇〇円  
 大日堂 鳴り龍・襖絵拝観  
 午前九時～午後四時  
 参拝料 二〇〇円  
 （月曜休館）

尚法要中は拝観一時休止になりますのでご諒承下さい。

編集室たより

厳冬、寒中の頃より一段と冷え込み、東京でも大雪注意報が数回発令されたり、各地の大雪被害が報道され心配です。

境内の一角に、年初めには必ず露の臺が出る場所があり毎年楽しみにしていましたが大寒を過ぎた頃にやっとな芽吹き始めました。

山内も新春行事を済ませ春からの行事の準備を進めています。引き続きコロナ対策に努めてまいります。

発行所  
 〒191-0031 東京都日野市高幡733  
 別格本山  
**高幡山金剛寺**  
 電話 (042)591-0032(代)  
 FAX (042)593-3038  
 発行人 黒川 高徳  
 編集人  
 年4回発行・再生紙使用